

5

塩谷南那須地 域

矢板市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那珂川町

(1) 地域の概要

塩谷南那須地域は、本県の中北から東部に位置し、鬼怒川をはじめ豊かな水に育まれた水田地帯が拓けた中南部の平坦な地域と、高原山麓を源とする清らかな水に恵まれた北西部から、八溝山系と塩那台地の丘陵地帯を那珂川及び中小河川が流れる東部地域にかけての中山間地域からなっています。

(2) 農業の特徴

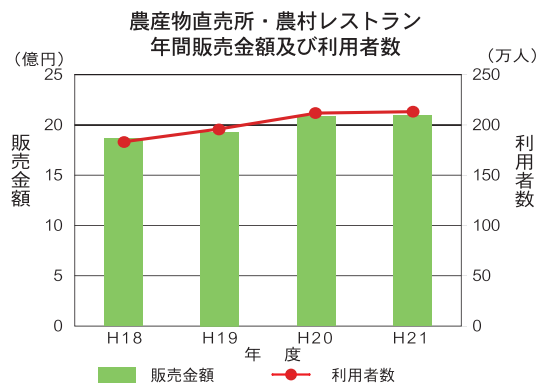
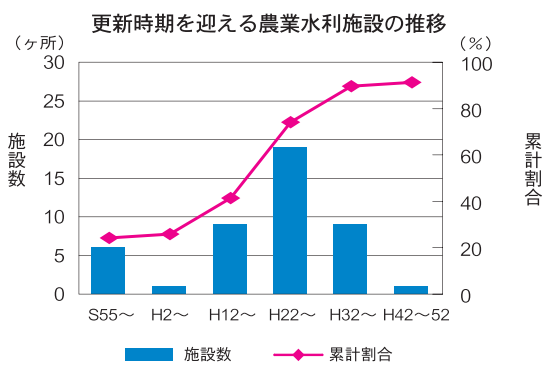
平坦な地域は県内でも有数の水田地帯で、米・麦・大豆等の土地利用型農業やスプレーギク等の施設園芸が盛んなほか、りんご園など観光農業も行われています。中山間地域では、かぼちゃやだいこんなどの地域特産物の生産や、大規模な畜産業などが営まれています。

(3) 農業農村の状況

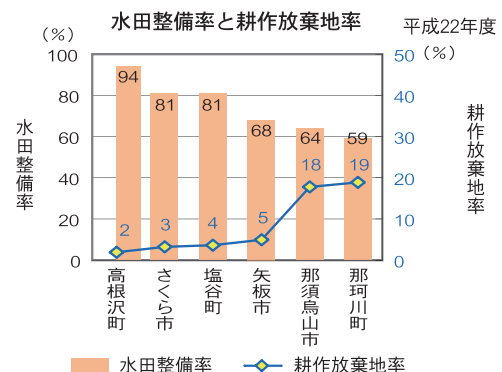
高度経済成長期に集中的に整備してきた農業水利施設の老朽化が進行しており、用水の安定供給等を図るため、施設の更新が必要な時期を迎えています。

認定農業者や集落営農組織・女性等の多様な担い手の育成や、豊富な地域資源を活用した地域特産品の開発・交流施設の充実強化等地域の活性化策が検討されています。

比較的平坦な中南部ではほ場整備が進んでいますが、高原山麓や八溝山系などの中山間地域では、未整備地域が多く見受けられ、耕作放棄地も増加するなど農村環境の良好な保全が懸念されています。



保水対策工事が必要な船生用水のずい道 (塩谷町)



(4) 各地域の取組

■基本目標

老朽化が進んだ農業水利施設を適正に管理し、管理団体と連携しながら施設の機能を効率的に保全し、農業水利施設の長寿命化を目指します。

また、清らかな水やその水に由来する農畜産物及び中山間地域特有の特産物など、豊富な地域資源を活用した新商品の開発や情報発信に取り組みます。

さらに、中山間地域等の農業生産条件等が不利な地域では、農業生産基盤と農村生活環境等の整備を一体的に推進し、地域資源の活用により農業・農村の活性化を図ります。

目標指標	基準年 平成21年度	目標年 平成27年度
○農業水利施設長寿命化対策工事数	一カ所	3カ所
○農産物直売所・農村レストランの利用者数	213万人	258万人

■重点取組

(1) 農業水利施設の長寿命化を推進します。

西の原頭首工や小白井用水などの農業水利施設について、ストックマネジメント事業により、施設の機能診断、保全計画の策定を行い、効率的な対策工事を推進します。

また、ほ場整備等により末端まで整備された農業水利施設について、土地改良区の体制強化を図りながら、施設の長寿命化のため、点検・補修等を管理団体と連携し、農地・水保全管理支払交付金等により支援します。

(2) 農村と消費者の交流づくりを促進します。

地域で自慢できる農産物の選定や、特産品・新商品の開発支援を行います。

観光農園や市民農園など体験型農園の運営支援や、食の街道による情報発信を積極的に行い、交流メニューの拡大及び交流拠点施設の運営強化に努めます。

(3) 中山間地域の活性化を支援します。

中山間地域等直接支払制度の活用による農地の保全と、そば作付けや水田・里山放牧などを促進し、ほ場の有効利用や耕作放棄地の削減、鳥獣害の防止を図ります。

集落の協働活動やボランティアの受け入れなどにより、農地の機能や景観を維持し、住民との交流活動を促進します。

また、活性化施設の計画的利用を支援します。

高原山麓をはじめ、中山間地域において総合整備事業による農業生産基盤及び農村生活環境の効率的な整備と併せ、事業を契機に地域特性を活かした作物を導入し、農業農村の振興を図ります。



保全対策工事を待つ西の原頭首工（那珂川町）



新設される道の駅での販売に向けた野菜栽培講習会（矢板市）



集落営農組合によるイベントでの餅つき交流(高根沢町)



基盤整備を待つ中山間高原地区（矢板市）